



社会福祉法人 恩賜財団

12月号

愛知県同胞援護会だより

第305号

平成25年12月1日発行



「和紙の押絵」

ケアハウス豊田 澤田 智世 様 利用者作品

目次

春緑苑……………P.2	第2とよた苑・保見の里……………P.7
第2春緑苑……………P.3	サンホーム豊田……………P.8
春日苑・ワーカー鷹来・さくら保育園……………P.4	大府の郷……………P.9
とよた苑……………P.5	支えていただいた方々……………P.10
若草苑……………P.6	春日井・豊田・大府グループ……………P.11～12

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL:0568-88-8302 FAX:0568-88-0306
 HPアドレス:www.douen.or.jp
 E-mailアドレス:info@douen.or.jp

春緑苑

福祉のつどい

11月2日(土)、「第33回福祉のつどい」に参加しました。

市政70周年ということもあり、大変にぎわっておりました。サボテンの鉢植え体験やマリナーのステーション発表の後、昼食として焼きそばやみたらし団子などを食べ、利用者さんほとても楽しそうにしておられました。

普段、経験することのできないことを経験することができ、充実した一日となりました。



▶とても楽しかったよ！

デイサービス

作品展

高蔵寺駅の「市民ギャラリー」で、利用者さんが作成した作品



▲みなさん、作品展に向け、一生懸命作られました



▲素晴らしい作品ばかりです！

グリーンピアホーム

グリーンピア春日井

10月30日(水)、都市緑化植物園(グリーンピア春日井)に行ってきました。

晴天に恵まれ、バラやハーブ園、紅葉など様々な植物を楽しみ、丁度、四季桜も咲いており「かわいらしく咲いているね。」と、とても楽しそうに観賞しておられました。

様々な植物に触れ、秋



▶散歩しながら植物を観賞するのは気持ちがいいね！

という季節を心地良く感じておられました。

利用者さんたちが普段から一生懸命作成された編み物や書道、水彩画、絵手紙、陶器や貼り絵など数多くの作品を展示し、たいへん多くの方々に見ていただきました。

秋の行楽 東山動物園

11月8日(金)、秋の行楽で東山動物園に行ってきました。

動物園は久しぶりという利用者さんが多く、行く前からとてもワクワクしておられました。たくさん動物を見て、みなさん「かわいい、かわいい。」と声を出して喜ばれ、童心に返って楽しんでおられました。

広い動物園を歩きまわり、疲れた様子でしたが、みなさんとても満足された様子でした。



▲たくさんの動物見てきたよ～☆

地域包括支援センター

介護予防教室の予定

「認知症予防教室」

～リースを木の実で飾ろう～

【日時】 12月16日(月) 14時～15時30分

【講師】 地域包括支援センター春緑苑

看護師 太田美幸

【会場】 東部市民センター第二集会室

【定員】 25名(定員になり次第申込み締め切りになります)

【参加費】 無料

【持ち物】 ポンド・飾り用の小物

【申し込み先】

電話 (0568) 88-5829

FAX (0568) 88-5704

メール chiikhokatsu@douen.or.jp

担当 田中、水野、寺井、太田、白木



▲キリンは背が高くってかっこいいね！

12月の行事予定

- 12月13日(金) 法人QC大会
- 12月14日(土) 家族ボランティア
- 12月18日(水) 誕生会
- 12月20日(金) 月例祭
- 12月24日(水) クリスマス会
- 12月25日(木) 全体会議
- 12月27日(金) 仕事納め式

新任職員紹介(11月1日付)



看護職員 加藤みゆき



調理員 松前 欣昌

第2春緑苑

特養

テーマ「歩く」

11月4日(月)、文化祭を開催しました。

今年度は「歩く」をテーマに、歩行訓練の様子や歩く大切さなどを作品に工夫を凝らし表現しました。

文化祭

午後からは、ボランティアさんの演芸会が行われ、歌を唄いながら体を動かし、大いに盛り上がり、各種模擬店も大好評のうちに終えることができました。

今年も、多くの方に協力していただき大成

デイサービス



▲巨匠のツーショット!

デイサービスでは、利用者みなさんが作った貼り絵や書道の作品を中心に展示しました。自分の作品を探し、見つける利用者さんは微笑み、他の利用者さんの作品を眺めては「うわ、上手だなあ。」と大歓声をあげておられました。昼食は模擬店の食事を中心に召し上がったいただき、普段とは違うメニューに舌つつみを打っておられました。



▲みんな揃って、「ハメハメハ〜」



▲中華街!大盛況!!

功を収めることができました。ありがとうございました。

ユニット紹介 4

幸せいっぱい



▲思い思いの時を過ごされています

職員のレリー随想

笑顔

特養介護職員 磯部佳代

最近、利用者さんの笑顔を見るのがうれしくて、どうしたら笑顔を見せてくださるか、毎日考えるのが楽しみになっています。

利用者さんの笑顔を見ると私も自然と笑顔になり、笑顔が無いと心配になってしまいます。そんな時は、私がいっぱい笑顔になり、いつも、「誰かが笑顔になってくれたら幸せだなあ」と思いながら日々、介護を行っています。これからも利用者さんの笑顔がたくさ見られますように。

おいしい食事を目指して

12月のメニュー紹介

選抜食の日

日時: 12/18 (水) 昼食

A食 B食

スウチムツグ クレ-ムコロッケ

12月7日(出)	家族ボランティア
12月9日(月)	リズム体操
12月10日(火)	紙工作(2〜)
12月16日(月)	書道教室
12月17日(火)	月例祭
12月23日(月)	クリスマス会
12月24日(火)	カフェ
12月26日(木)	誕生日会

12月の行事予定

「ここから(心・体)教室」のご案内

【日時】平成26年1月10日から3月28日までの毎週金曜日(3月21日はお休み) 全11回 14時~15時30分

【内容】運動機能向上のためのプログラムを中心に行います

【対象】春日井市内在住のおおむね65歳以上の方で介護予防に興味のある方。できれば継続して参加いただける方(初日と最終日に体力測定を行います)

【講師】あいち介護予防リーダー

【会場】特別養護老人ホーム第2春緑苑 地域交流センター(他に2会場あります。詳しくは下記までお問い合わせください)

【定員】50名(定員になり次第、申し込み締め切り)

【参加費】無料

【申込み・問い合わせ先】電話 (0568) 56-9166 地域包括支援センター第2春緑苑

地域包括支援センター

今回、ご紹介するユニットは、2丁目2番地です。このユニットでは、ちぎり絵を作ったり、本を読んだり、自分の時間を楽しませてくれる方が多いですが、利用者さん、職員が誕生日を迎える時、みんなで歌を唄い、盛大にお祝いをしていただけたら、温かい、幸せいっぱいなユニットです。

味美

感染対策研修会



▲たいへん勉強になりました

日に日に寒さも増し、インフルエンザが流行しやすい季節がやって来ました。感染予防の知識を深めようと、サラヤ株式会社の方に講師として来ていただき、職員を対象に研修会を行いました。予防の基本は手洗いが一番とのこと。蛍光塗料を手につけ手洗いを実施し、特殊光で確認してみると思った以上に洗い残しがあることに驚かされました。今回学んだ知識は、利用者さんにも伝えていきたいと考えています。



▲洗い残しがこんなにも...



特養 介護職員 宇野 良子



特養 介護職員 深田八千代

新任職員紹介(1月1日付)

Kace book

Kace book「カースブック」とは春日苑で起きた色々な出来事をピックアップしていく、いわゆる「ブログ」的なコーナーのことです。今回は「いも掘り」での行事を取り上げました。

いも掘りをしました

春先に苗を植え、毎日水やりを行いました。秋になり、いよいよ収穫です。たくさんのお芋を収穫することができました。昼食でさつまいもご飯にしておいしくいただきました。



「いっぱいお芋がとれたよ」

▶大鳥居をバックに集合写真



春日苑 バスハイク

10月23日(水)、バスハイクでお千代保稲荷に行ってきました。

油あげをお供えして参拝したあとは、名物の串カツを食べたり、うなぎやなまず料理、元中ドラゴンズの大豊選手に餃子を焼いてもらって食べたりと、みなさんそれぞれに楽しんでおられました。

お昼からは、イオンモール各務原へ移動し、ショッピングやカフェでゆったりした時間を過ごしておられました。



「食べ歩きもいいなあ」

ハンディマラソンに参加しました

10月6日(日)、栄の久屋大通りで行われた名古屋シティハンディマラソンに参加しました。

好天に恵まれ汗ばむ中でしたが、沿道からたくさんの方の応援を受けながら一人ひとりがそれぞれのペースで走り、無事に完走することができました。



▶完走しました

障がい者生活支援センターだより

セルフプランについて

平成24年4月の改正障害者自立支援法(現障害者総合支援法)及び改正児童福祉法の施行により、障がい福祉サービスや障がい児通所支援を利用する方にサービス等利用計画や障がい児支援利用計画を作成することになりました。利用計画とは障がいのある方の自立した生活を支え、課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するものです。

春日井市ではご自分で作成したいという方のためにセルフプランを導入することになりました。障がい福祉サービス受給者証の更新の際に計画作成の案内も送られます。ご本人や家族でも作成しやすい書式となっております。

【お問い合わせ】

春日苑障がい者生活支援センター
TEL(0568) 8817637
FAX(0568) 8815802
Eメール:kasugajien@denen.or.jp
担当 尾崎・中村まで

12月の行事予定

- 12月7日(出) 保護者会大掃除・もちつき大会
- 12月11日(水) 忘年会・レクの日
- 12月24日(水) 合同クリスマス会

ワーカー鷹来

ふれあい祭り



市長様 伊藤祝辞



▲みんな楽しく！ソレ、ソレ、ソレ～!!

10月26日(土)、「第6回ワーカー鷹来ふれあい祭り」を開催しました。前日からの台風の接近もあり、安全を考慮し、屋内での開催となりました。勇壮な太鼓の演奏から始まり、華やかなよさこい踊り、人形劇、アキユラシー(フリスビー)を使ったゲームなど、来場いただいた方が一体となって楽しめるお祭りとなりました。たくさんの方にお越しいただき、地域の皆様との交流を深めたお祭りとなりました。

さくら保育園

トマト絵日記

～ペットボトルで育てよう④～

突然の最終回
ペットボトルで育ててきたミニトマト。小さな花を咲かせてくれましたが、残念ながらことに枯れてしまいました。来年再挑戦します。



▲お弁当おいしいよ～!

秋の遠足

秋の遠足で近くの公園に行く予定をしておりました。あいにくの雨となつて



手をつないで、かわいくお散歩です。そこで乳児組はリュックを背負って園内を散歩して遠足気分を味わい、幼児組はホールで体操やゲームをして楽しみました。少しでも遠足気分を長く味わっていたらこうと、お弁当はテラスで食べ、子どもたちは、お母さんが作ってくれたお弁当を残さず食べていました。

とよた苑

バイキング

11月6日(水)、マグロの解体ショーとバイキングを行いました。

並んでいる様々な料理と品数の多さにみなさんビックリ!! 「こんなにもあると、どれから食べようか迷っちゃう」と大絶賛でした。

また、今回の目玉である「マグロの解体ショー」では、みなさん大きなマグロと包丁さばきに興味津々。周りでマグロの匂いや迫力を感じながらおいしくいただくことができ、楽しいひとときとなりました。

これは、すごい!



今月のピカイチ (特賞)



どの料理もおいしいよ
おいしい料理に
思わずニッコリ😊

※バイキング

地域包括支援センター アルツハイマーデー



10月12日(土)、豊田市福祉センターで「超高齢社会における認知症の医療とケア」について、国立

10月30日(水)、野見・野見山地区2つの地区で、警察・豊田市役所・3つの包括支援センター合同で、徘徊模擬訓練を実施しました。

徘徊模擬訓練を 実施しました

「認知症の方を地域で見守る体制作り」「認知症で行方不明になった時の早期発見」「声かけ・通報について」この3つをテーマに徘徊模擬訓練を通して、参加していた方に学んでいただきました。



みなさん、真剣に聞いていました

とよた苑デイサービス ハロウィンパーティー



▲お菓子をどうぞ

10月31日(木)のハロウィンにちなんで、帽子やマント、かぼちゃのバッグなどを持って仮装し、ハロウィンパーティーを行いました。

おやつの中には、利用者さんが仮装した姿で「トリック・オア・トリート」と、お菓子をもらいに職員に声をかけていました。普段とは違った雰囲気を利用者さんはとても楽しそうにしておられました。

訪問入浴サービス

ゲルマニウム浴始めました



寒い冬を乗り切るため、ゲルマニウム浴を取り入れてみると、利用者さんから「お風呂の後体がぽかぽかにもポカポカして良かった。温泉につかったみたいだった。」と、とても気持ち良さそうにしておられました。ほのかな香りに包まれ、気持ちの良い入浴の時間を過ごしておられました。

ケアハウス豊田

中華バイキング

11月1日(金)、中華バイキングを行いました。



福祉健康フェスティバル

利用者さんがコツコツ作り上げてきた作品を、10月11日(金)、福祉健康フェスティバルに出展しました。

「生きがいづくり」を第一目標に掲げ、作品を販売できる喜びにもつながっています。今年の主な作品は、つるし飾りをメインに、枝さるぼぼ、牛乳パックいすなど多くの作品を出展しました。

今回の出展作品を見て、来年に向けての更なるステップアップを目指すべく、みなさん意気揚々です。



▲作品販売担当の利用者のみなさんです

▼来客の方々との
会話が弾みます





▲豊田市議会議員 杉浦 昇 様 来賓挨拶



▲豊田市社会福祉事務所所長 今吉春雄 様 来賓挨拶



▲倉知会長挨拶

11月3日(日)、第9回若草苑文化祭を開催しました。今年のテーマは「収穫」で、若草苑で収穫した野菜を使い、「芋羊羹」「かぼちゃクッキー」



若草苑文化祭



▲子どもたちが、年賀状作りを楽しんでいます



▲たくさんの人で盛り上がっています

「いも煮」などを作りお客さまに味わっていただきました。当日は天候にも恵まれ、367名の多くの皆様にお越しいただき、大いに盛り上がりました。

作品展



たくさんの方のすばらしい作品を展示し、来場していただいた方に見ていただきました。



演芸会



太鼓のみなさんによる和太鼓演奏。迫力のある太鼓演奏でした。

大道芸人ゆうじさんによるパフォーマンス。子どもたちも参加し、大いに盛り上がりました。



利用者のみなさんによる楽器演奏。みなさんととても緊張されておりましたが、無事演奏を終えると「ほっ」としておられました。

訓練を終えた後、「昔、消防団でやったことがあるよ。」「こういう訓練は大事だね。」「水消火器は、見るとやるとでは大違いだね。」と利用者さん同士で、話をしておられました。「いざ」というときのために備えています。

訓練を終えた後、「昔、消防団でやったことがあるよ。」「こういう訓練は大事だね。」「水消火器は、見るとやるとでは大違いだね。」と利用者さん同士で、話をしておられました。「いざ」というときのために備えています。

地震から火災発生を想定。職員の誘導で避難し、水消火器を実際に使って初期消火訓練を行いました。

10月29日(火)、防災訓練として、避難訓練と初期消火訓練を行いました。



▲みなさん、とてもお上手でした

防災訓練

東山デイサービス

第2とよた苑

楽しいひととき

10月30日(水)、ボランティ
アグループ「わくわくセブン」さ
ん、子育てサークル「mama's
smile」の子どもたちとママさ
んが慰問に来てくださいまし
た。

わくわくセブンの紙芝居
やマジックで盛り上がり、ひ孫
にあたるくらいの子どもたちと
のふれあいに、利用者さんは終
始ニコニコ顔でした。

子どもたちのかわいらしい仕



紙芝居おもしろかったよ!
子どもたちと一緒に観賞

草に癒され、楽しいひとときと
なりました。



子どもたちの微笑ましい姿に
利用者さんもニコニコリ◎

ユニット便り【足助・稲武】 お寿司屋さん開店

11月7日(木)、足助ユニット・稲武ユニット合
同でユニット調理を行いました。
本日のメニューは「にぎり寿司」。利用者さんの
希望でお寿司になりました。
ネタはマグロ、サ
ーモン、いなりなど
計8種類。みなさん
好きなネタを次々に
注文し、おいしそう
に召し上がっておら
れました。
どの利用者さんも
「おいしかったよ」
と言ってくださり、
満足そうな表情をし
ておられました。



▲カウンターでのにぎりたてのお寿司は格別だね

デイサービス

「げんきの会」初来苑!

10月17日(木)、「げんきの会」
の方々に来ていただき、太鼓、
三味線の演奏、舞踊を披露して
いただきました。

「ソーラン節」や「花笠音頭」
などの民謡を三味線で演奏して
くださり、利用者さんも一緒に
歌ったり踊ったりして、楽しん
でおられました。

今回、初めて「げんきの会」
の方々に来ていただき、利用者
さんには大好評でした。「また

来てくださいね。待つてるから
ね。」と次回の来苑を直接お願
いしている利用者さんもおられ
ました。



▲すてきな演奏、ありがとうございました

ヘルパーステーション 片付けのお手伝い

「こんにちは。」と声をかけて
家に入ると、机の上には食べ終
わった食器、部屋には洗濯物が
広がっています。「やらなきや
いけないとは思ってるんだけ
ど、なかなかやる気にならな
く。」とNさんは言います。
病気や体調不良で思うように
動けない自分に「悔しい」と涙
を流されることもありです。
ヘルパーが片づけを始めると、
少しですが一緒に片づけを
されるNさん。その「やるこ
とされる気持ち」を大切に、お
手伝いをしていけたらと思っ
ています。

保見の里 保見町の秋祭り

10月13日(日)、保見町の秋
祭りに、利用者さん4名と職員
で行ってきました。

山の上にある神社へ、坂道を
小学生が大人と一緒に元気よく
「わっしょいわっしょい」とみ
こしを担いで登っていく姿を見
て、「元気だね」「にぎやかだ
ね」と、笑顔で祭りを楽しんで
おられました。

帰りには、喫茶店でひと息つ
き、楽しい一日となりました。

にぎやかにみこしを担いで
坂道を登っていきます



神社の前で、ハイチース!▶



障害者支援施設

サンホーム豊田

迫力満点!!和太鼓演奏♪

10月22日(火)、「益富でんでこ太鼓」の方々に和太鼓の演奏



▲迫力満点!!



▲上手にたたけるかな?

をしていただきました。

『益富でんでこ太鼓』の方々は毎年交流しており、恒例のイベントとなっています。今年も迫力ある和太鼓の演奏を披露していただき、みなさん、その迫力に驚きながらも聴き入っていました。

演奏後には和太鼓をたたく体

今月のコシ

今年、ハロウィン会では、みんなでイラストに絵を塗り、イラストはハロウィンにちなんだジャック・オー・ランタンやおばけなど、ハロウィンの文化に触れることができました。

その後、ハロウィンパーティーを行い、利用者さんの中には、テレビアニメのキャラクターなどの衣装に仮装して雰囲気

を盛り上げてくださる方もおられました。ハロウ

みんなのハロウィンパーティー

10月31日(木)、ハロウィンの日ということで、ハロウィン会を行いました。

今年、ハロウィン会では、みんなでイラストに絵を塗り、イラストはハロウィンにちなんだジャック・オー・ランタンやおばけなど、ハロウィンの文化に触れることができました。

その後、ハロウィンパーティーを行い、利用者さんの中には、テレビアニメのキャラクターなどの衣装に仮装して雰囲気

を盛り上げてくださる方もおられました。ハロウ



▲かぼちゃは何色?

▲トリック・オア・トリート!!

イン気分を満喫することができ、楽しい一日となりました。
※ジャック・オー・ランタン
かぼちゃもしくは火の玉をモチーフとした妖怪

心をこめて歌いました!!

験もさせていただき、笑顔で力強く太鼓をたたき利用者さんもいれば、でんでこ太鼓の方に手を添えてもらい、太鼓をたたき利用者さんがいたり、音楽を通して楽しく交流することができました。



▲響け!歌声♪

11月2日(土)、音楽クラブの利用者さん13名が美里中学校の合唱コンクールに招待され、歌と楽器演奏を披露しました。

生徒さんにも一緒に歌っていただけるような「赤とんぼ」「もみじ」「どがらん!」「花咲く旅路」を選曲し、練習を重ねてきました。

大勢の観客を目の前にして、みなさん初めは緊張しておりましたが、生徒さんが隣で一緒に歌ってくれたり、手拍子をして盛り上げてくださったりと温かい雰囲気緊張もすぐにほ

世界旅行を体験☆

10月24日(木)



▲リトルワールドで世界旅行★

日(木)、ダイヤ班の利用者さん15名が、作業班外出でリトルワールドに行ってきました。今回の外出のメインイベントは食べ歩き。おいしい料理に舌つづみをうちながら、見学しました。



▲トルコアイスクリーム食べたよ♡

また、食事以外にも民族衣装を着たり、各国の建物や民芸品を見て回ったりと、普段できない体験をたくさんすることができました。

生活介護事業 夜空の向こう側☆



▲宇宙に行ってみたいなあ...

10月11日(金)、22日(火)に2班に分かれてプラネタリウムの見学に行きました。

プラネタリウムの天球には、当日の満天の星空が再現され、星と星をつないで夏の星座、秋の星座の形を見ることができ、「夜空に大きな絵が描ける」とみなさんから歓声が上がりました。

その後、宇宙の始まりから、やがて地球が誕生するまでの壮大な物語を美しい映像・音楽とともに体験しました。

私たちが願いをかける星空は、素晴らしく美しいと体感できた一日となりました。

12月の行事予定

- 12月7日(出) 五ヶ丘東小学校バザー
- 12月17日(水) ライオン歯磨き指導
- 12月23日(月) クリスマス会

大府の郷

ショートステイ

秋のお抹茶会

10月23日

10月23日、おしく作りましょうね！
日（水）、ショートステイで栗きんとんとお抹茶会を行いました。



栗きんとんは、栄養士より作り方を教わり、こした栗の中に砂糖をいれ、利用者さんにこねていただきました。はじめはうまく混ぜられず、てこずっておられました。が、次第に慣れ、利用者さんは交代で混ぜておられました。「栗きんとんは、栗と砂糖だけでできるんだね。初めて知ったよ。」と驚かれた利用者さんもおられました。

デイサービス

芸術の秋

芸術の秋として、利用者さんにリンゴの色を思い思いに塗っていたいただき、掲示させていただきました。ふじ賞（金賞）、おうりん賞（銀賞）、シヨナゴールド賞（銅賞）と賞をそれぞれ用意し、利用者さん、職員で作品の賞を決めるため投票しました。

お抹茶会では、「私が、お抹茶を点てようか。」と、言ってくださる利用者さんがおられ、お抹茶を点てていただきました。手早くきめ細かな泡が立ち、見事なお抹茶ができ上がり、栗きんとんと一緒にお抹茶を楽しみました。



▲なかなかのお点前でした

た。

みなさんとても丁寧に塗られており、甲乙つけがたい作品が並びました。作品の色にもそれぞれ個性がでており、僅差の結果となりました。勝負ごとになるとみなさん真剣で、とても楽しんでおられました。

ふじ賞



居宅介護支援事業所

コスモスの会 始動!

10月より、大府の郷周辺住民の方中心で立ち上げた介護予防自主グループが、ついに活動を開始しました。

現在13名の方が在籍しておられ、健康づくりリーダーの指導のもと、大府の郷で体操を行っています。参加された方は、和気あいあいとした雰囲気の中で

職員紹介

特養介護職員

千葉 佳織

- ①なぜ、福祉施設に就職したのですか？
母の働いている姿を見て、やってみたいと思ったから。
- ②休日は何をしていますか？
友だちと遊んでいます。



大府の郷 グルメ紹介

11月のベストメニュー



さつまいもごはん

汗を流され、とても有意義な時間を過ごされていました。

みなさんも一緒に健康な体を維持しませんか。ぜひ、ご参加お待ちしております。連絡先(0562)48-8859 担当 吉田

③座右の銘は？

一生懸命

④将来の夢は？

お母さんになること

⑤最後に一言

社会人になり、一日でも早く成長し、先輩から教えてもらったことを無駄にしないよう一生懸命頑張っていきたいと思います。

いつか、母のような介護士になりたいです。

新任職員紹介

11月1日付

特養



介護職員 森岡 達生

支えていただいた方々

10月16日・11月15日(敬称略、順不同)

春日井グループ

春緑苑

特養

寄付金 武内喜代子塚田美智子前並米穀店山本浦子渡辺由加松井紀久子高羽竹松野田淑人

寄付物品 三宅富郎田村早苗平川トミ野田久江金林花子安江百合子上谷イト加藤キヨ藤江光枝松本きぬ伊藤忠勝初山きん鈴木清子松本ふみ子楳林弘子富田鏡枝高田チヨ亀井誠治浅野よし

寄付物品 森の会嶋田幸子安藤ゆづ鶴坂フサ福井ミトセ熊澤ツミ中岡忠中岡真智子日比野恵美子金井規久群柳邦子山田美智子尾崎文子若原修若原真子西山啓子柴田由美子渋谷山起子見田優子(おんがくON E尾崎理恵(ちひろ会)鈴木和子五味たか子松田ミドリ鏡下阿古田美智子(よい会)武弘子安藤孝子(ネオボリスの会)難波郁子伊佐佐々雅子(あじさいの会)金子孝之金子るみ子佐々木いく子岡本佳未子(ハバクラブ)丸地巴森下明美鬼頭豊子武井みどり岡本千恵子!林平岡(豊愛会)大野豊愛大岳きく伊藤アキ泉和子杉野公栄浦治ます子岡田八重子楳崎マサ子(個人)山本浦子田村早苗渡辺由加中島静子木村隆明小川昇

寄付物品

佐藤欣子安藤ヨシエ三宅富朗清水佐紀子金崎民子イナ美容室永田千恵子水野範風(詩吟)重田カツ子(詩吟)林春代(詩吟)芦田迪子岡田優子(紙芝居)白根俊男(絵画)高野(古川良彦織物山田咲子(絵画)林守(太極拳)村上美恵子(お茶)松野宏(麻雀)榎川村広枝(詩吟)栗野田有美子(お茶)市村ケイ子(喫茶)山田拓梨子(書道)小林照子(お茶)池田ふじの(絵手紙)市村丈夫(麻雀)赤木宏治(麻雀)三尾英幸(社交ダンス)浅井啓子(社交ダンス)中根英子(社交ダンス)亀井光代(社交ダンス)大崎悦子(喫茶)幸の会(大正琴演奏など)ハビネスの会つくしの会インタークラブ陽なたほ(紙芝居)

寄付物品

松本節子浅野由春松葉初枝(春日井仲間)高橋紀子大石三恵道田静恵森田浩子森邦子梶田直子石垣隆由石垣まさみ(たかなみ会)斎藤美津子松森貴美子佐野数人佐野陽子酒井キクエ田中妙子山本花子(高森台たんぼの会)龍橋宗

寄付物品

豊濱八重子眞善田寿美子坂本あつ子村田敬子桑原木子宮下和次井島康男大草千代子木村勇男宮崎美智子丹羽鏡子橋爪ヨシ子井治子岩田ミサヲ宮浦久子門ハナ山田春枝

寄付物品

森の会中岡真智子中岡忠群柳邦子嶋田幸子鶴坂フサ三鬼ユスカ(個人)神馬照子

寄付物品

吉田皓緒方さか江岩村まさ田島重子菱田千代子鷺見隆井島定子江本栄玉福元とめ安田英子今井麻子大島直江(下津浦ラティア)林ヒナ子林順子大谷末子(個人)山本浦子鈴木美智子吉川晃伊藤健治友松桂子三浦茂美馬義夫美馬明美

寄付物品

長縄ハルモカいちろうの会胡麻の会オジイサンズつくしの会ミルフィーユ谷口京子

春日苑

寄付物品

林幸枝矢野恵治松下直樹水谷和子堀田育男山田久子愛知県総合看護福祉専門学校森伊都子福富久美金村聖哲五藤徳治亀田尚美

寄付物品

春日井市老人クラブ連合会公益社団法人愛知県毛地建物取引業協会北尾張支部竹内紙器工業部社会福祉法人養老福祉会ハレットハウス渋谷聖栄社会福祉法人養老福祉会はま所長服部朝宏(柳二上総合マネジメント)三上弘雄鷹来中学校ブロック母親委員会ピサノ園子

寄付物品

立山哲男風間公西村晃一松下英雄鷹来中学校ブロック母親委員会NPO法人教育スポーツ協議会さぼと親子大鼓はちきん&いごそう人形劇団やまは

寄付物品

鶴岡鈴代鈴木清枝杉村千代子伊藤典宏丹羽千江遠山年代太田さかえ田口義治竹内忠計柴田ヨシ子竹村志げの原田喜代子益富民生委員加藤マキ上田富貴子加納種子

寄付物品

宮脇春美高橋弘行河原良翠近藤加奈子シスター木全

寄付物品

春日井市老人クラブ連合会公益社団法人愛知県毛地建物取引業協会北尾張支部竹内紙器工業部社会福祉法人養老福祉会ハレットハウス渋谷聖栄社会福祉法人養老福祉会はま所長服部朝宏(柳二上総合マネジメント)三上弘雄鷹来中学校ブロック母親委員会ピサノ園子

寄付物品

近藤はま大屋智登子石崎照代西谷充雄近藤菊枝成田ハナコ橋村富美子高橋正義岩水エミ子成瀬としの松田糸子高橋ヒロ松島朋子所瑠子保見地域D下系玉城石川まさ子阪口藤太郎吉田カズエ伊藤雪子若竹大寿会玉城美加守野きん

寄付物品

倉知葉舟(おんがくON)わくわくセブン鈴木高和天津登志江渡邊純子橋本礼子

寄付物品

近藤サキエ坂田八重子藤水ヤイ吉橋すず江川本弘子児嶋すま子新見喜一松島朋子塩澤みわ井上銀一鈴木昭子占井まつよ

寄付物品

モックんげんきの会椿きぬえ金ヶ崎朝子奈良京子大石誠(マンドリン)サンデルけやき野のはな山内逸馬シロワサウズ佐竹宏明鈴木直

寄付物品

呉山博行齋頭キクエ田中隆幸野田奈知子深見かね磯村秀子近田トヨ近藤とき子元木峰子尾村てつこの大家ます三岡ちるの

寄付物品

大津登志江シロワサウズ大野晃杉山日出子

寄付物品

矢野晃杉山日出子長尾伊佐夫

寄付物品

渡邊康綱中川保険宇佐美一豊田信用金庫日支店キョウラン中部柳豊田信用金庫理事長田端稔トキワ(柳)近藤商會(柳)サライ(柳)本多法

寄付物品

トヨタK&Cトヨタボランティアア慈恵福祉保育専門学校豊田地域看護専門学校校舎の会トヨタ自動車民謡サークル大道芸人ゆうじ若園大鼓の会豊田高専吹奏楽部益富フアン

寄付物品

小野田美津子平池美代子加納よしの

寄付物品

グラマムゆき暖さん野の花シヨワサウズ天翔アौरラム益富フアンニモツクんタツとさん

寄付物品

小島さなエトヨタ自動車販売部E&C

寄付物品

お話し会もくろん(5名)吉村知子酒井幸吉鶴洋一矢野由子益富てんこ太鼓(20名)

寄付物品

橋本要伊藤正吉小島さな

寄付物品

橋岡薫お話し会もくろん(4名)豊田東高校JRC部(3名)

寄付物品

小林郁三茂原恭三水野和子正生尚美

寄付物品

磯部はる子仲川孝子山田朝雄岡田昭川口昌子二又アヤ子山下ギサ愛光園梅田ツル渡辺欣久三島昌三深谷元三白井マサ子林英雄伊藤政夫伊藤子エ子平野透鈴木マサエ広浦みつえ仙教植子加藤幸枝太啓建設大府市役所岡本静枝野田キヨ子藤石年子小島三治

寄付物品

富士音楽事務所美星会橋本隆久

寄付物品

高野則昭つばさクリック永井子尾花会

海外研修
レポート

平成25年度 海外研修 高齢福祉 ドイツ・フランス編

春緑苑短期入所施設 施設長 佐藤 俊子

10月26日(土)から11月2日(土)までの8日間、ドイツ及びフランスの高齢者福祉関係施設を視察しました。その概要を報告します。

ドイツ

・MDK(介護保険の判定機関)
介護の認定、在宅のサービス、ホームの質を保障する介護保険の判定機関を訪問しました。

ドイツの介護保険は年齢制限がなく、日常生活で同じ繰り返し反しのケアが6か月以上必要な人に限られていました。認知症のような1日中見守りが必要な利用者は対象にならないことに驚きました。



カリス・セントミヤエル (ドイツの高齢福祉施設)

判定員の専門性は高く評価されており、判定は一人で行うため結果がでるまでの時間は相当早く、調査基準に沿ってすすめられていました。判定結果を正確に検証するシステムがあり、時折、抜き打ちで調査することになっているとのことです。日本のように複雑で手間をしっかりとかけられるシステムと比較し、その合理的

な進め方に驚きました。

今後の問題点としては、現状介護度が3段階で評価されているため、段階評価の限界、認知症を対象としていないことをあげていました。介護保険について問題を抱えているのは、日本だけではないと痛感しました。

フランス

・サンモール・デ・フォッセ(老人養護施設)

施設は85歳以上、中度の障がい、かなり障がいのある要介護者が80%を占めていました。

施設の玄関は、2階、3階が吹き抜け構造で、外出する人、訪問する人が声をかけやすい環境に配



▲受付の様子、誰もが気軽に声をかけやすくなっている

Q & A

1. 一番印象に残った施設は?

施設名…サンモール・デ・フォッセ(老人養護施設)
理由…生活の場としての施設環境、ノーマライゼーションを実践しているモデル的施設となっていました。



▶吹き抜け構造になっている

う姿は、当たり前前の社会生活を営む明確な高齢者の姿でした。

2. 日本の福祉との違いは?
ドイツ、フランスは利用者本人の意思の尊重、個人の自立の徹底が基本理念になっていました。認知症の問題として、両国ともに介護、制度として問題化してきているところで、日本より取り組みは遅れていました。

利用者がそれぞれの仕様にあった車いす、歩行器を巧みに使い、また、介助者に手を引かれ行き交

3. 今回の研修を踏まえ、今後、どう活かそうと考えていますか?
高齢者施設の入所要件は、本人の意思確認が絶対要件で、施設入所は転居で住居としての環境を整えるという考え方があります。利用者本位の施設運営を実現していくためには、世代間交流、地域交流が大切であると感しました。

慮されており、玄関先には託児所があり、働きやすい環境も整備されていました。

1階部分は美容室、レストラン、洋裁店がありワークショップや、体操、エステなどの地域の人も自由に交流できる場所となっており、様々なイベントも行われ、地域との交流に力を入れていました。

施設の理念は、①自分の家という気分で住める環境を整える②家にあつた物を持ち込み、好きなものに囲まれて住む③意思の尊重④入居者自身が主体で、自分のできることをやり続けていく支援、という4つを掲げていました。

4. 一番印象に残った観光地は? 場所…モン・サン・ミッシェル
理由…パリから延々と平原を一日、



▲モン・サン・ミッシェルで記念撮影

5. 今回の研修で、あなたの感じたことはなんですか?
利用者本位、個人の尊重という言葉は、日本でもあたりまえになってきたものの、欧州と比較して内容的に伴っていないと感じています。施設利用者の、性格といった主体性を引き出し支援していくことが、施設スタッフとして必要だと考えます。急激な環境変化についていけない人への心のケアは、日本の福祉を推し進めるキーワードではないでしょうか。そのためにも福祉専門職の在り方、技量が問われていくのではないかと考えます。

一人ひとりの声を聴き、その人の心に伝えられる自分になれるよう精進していきます。

海外研修
レポート

平成25年度 海外研修 児童福祉スウェーデン・フランス編

さくら保育園 保育士 石井千穂子

9月28日(土)から10月5日(土)までの8日間、スウェーデン及びフランスの児童福祉関係施設を視察しました。その概要を報告します。

◆スウェーデン、ハッセルビ
―市内施設視察
【9月30日(月)】

・シユアーフォーゲル保育園
住宅の一角にあり1992年に
市から委託された保育園です。

1歳から5歳まで65名の子も
たちが通い、スタッフは13名。独
自のアトリエの中で絵を描いた
り、粘土細工をしたりと、創造力
育成に力を注いだ教育が行われ
ていました。

かしの木に囲まれた緑あふれる
園庭があり、生き生きと遊んでい
る子どもたちの姿が印象的でした。
雨でも雪でも外で遊ぶことを
重視し、自然との触れ合いが大切
であることを改めて感じさせられ
ました。



▲アトリエで子どもたちは個性豊かな絵を描いています

◆フランス、リメイユ・プレヴ
アンヌ市内施設視察(午前)
【10月2日(水)】

・レ・プティ・リュタン保育所(多
機能保育所)

従来の保育所機能に加え、一時
託児所の機能を兼ね備えた200
4年に開設した保育所です。ここ
では障がい児(肢体不自由、知的)
の子どもの受け入れ体制も整って
おり、心理学者などの専門員が訪
問し、子どものみならず保育士の
ケアも行われていました。

ならし保育が6日間あり、保護
者が30分間子どもたちと一緒に過
ごし、子どもたちに無理のないよ
う受け入れができていました。

◆フランス、ボーヴェ市内施設
視察(午後)

・ビス・エスキモー(企業内託児
所)



▲0歳児クラス

北部の
パリ
街にあ
る私立
の保育
園で、
3か月

Q & A

1. 一番印象に残った保育施設は？

施設名…シユアーフォーゲル保育園(スウェーデン)

理由…日本の保育環境とは違い、すべて自己管理、自己責任の上で園と家庭との信頼関係の中で進められていました。園庭が自然豊かで美しい森の中にあり、大きな石や枝など自然物がそのまま園庭にありました。その中で子どもたちが生き生きと遊んでいました。

2. 日本の保育との違いは？

スウェーデンでは0歳児から乳児をもつ親の育児休暇があるため、保育所での預かりはありませんでした。ただ、子どもの権利があり、保育園に入所希望を出したら、3か月以内に条件は問わず入所できるようになっていました。

他にも、開園閉園時間が地域のニーズに合わせた時間になっており、様々な保育サービスを保護者が選択できるようになっていました。



▲フランスの凱旋門で記念撮影

支援・援助方法に違いはあるものの、子どもたちに幸せになってもらいたいと願う気持ちは同じで、質の高い保育を提供するためにはどうすれば良いか考える良いきっかけになりました。

3. 今回の研修を踏まえ、今後、どう活かそうと考えていますか？

子どもの思いや願いなど、その子の能力を十分理解している保育者がそばに付いて、やり遂げる支援をしていることが随所に強調されていました。

細やかな目配り、見守りで子どもたちの自主性が重点に置かれ、遊びの中に学びを入れる環境作り、園の設備や遊具の配置の設定など一人ひとりの気持ちを尊重しながら「〇〇やってみよう」と楽しみに思える環境作りが参考になりました。実際の保育の現場で生かしたいと考えています。

4. 一番印象に残った観光地は？

場所…スウェーデンの市庁舎
理由…ノーベル賞授賞式が行われる場所であり、市議会会議場や市民の結婚式場としても利用されて

います。色々な図柄が散りばめられており、天井近くに「ゆりかごから墓場まで」とスウェーデン人の出産から葬儀まで保障する絵が描かれていました。その中で若者が重そうな石(税金)を背負っている姿が印象的でした。

5. 今回の研修で、あなたの感じたことはなんですか？

一番感じたことは、福祉制度の歴史の違いです。

婚外子に対する差別は撤廃され、様々な働き方が認められるために、女性が子どもを持って仕事を続けることができ、男性も子育てをし、子どもとはゆったりとした時間が持てる制度があることに感動しました。

一緒に参加した日本全国の保育園、児童施設で働く方々と交流が持て、保育士以外の職種の方の考えや同じ悩みを抱えている仲間がたくさんいることが分り、心強く感じました。

編集後記

今年も残すところ、あと1か月となりました。12月は「師走」と言われていますが、その由来はご存じでしょうか。平安時代から言われている「師走」の語源説の一つとして、師匠の僧が仏事で走り回る忙しさから「師走」とついたりと言われています。

年末に向けて何かと慌ただしい12月。お体に気を付けて良い年をお迎えください。

この広報紙に掲載した個人情報、ご本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。